



# AOKI 青木村 議会だより

第65号  
平成29年5月1日発行



発行／青木村議会  
編集／議会報編集委員会  
印刷／(株)アオヤギ印刷

信州・青木村ふるさと景観100選

陽春(中挾 太子堂公園)

青木村議会へアクセス E-mail: [gikai@vill.aoki.nagano.jp](mailto:gikai@vill.aoki.nagano.jp)



小学校入学式

保育園入園式



青木村議会だより  
第65号

平成29年 第一回定例会	2
平成29年度予算	4
常任委員会報告	5~8
一般質問	9~12
本会議討論	13
議会の動き・住民の声	13~15
議会日誌	16



中学校入学式

# 平成二十九年 第一回定例会

平成二十九年第一回定例会が、去る三月七日に招集され十七日までの会期で行われました。議案は、第五次青木村長期振興計画後期基本計画、青木村辺地対策総合整備計画の変更、条例制定・改正、上田地域広域連合ふるさと基金に係る権利の一部放棄、平成二十八年年度一般会計・特別会計補正予算、平成二十九年年度一般会計・特別会計予算と追加議案二件で、慎重審議の結果、すべての案件について原案のとおり可決されました。また、一般質問では、四人の議員から村政に対する意見や質問がなされました。

## 村長あいさつ (要旨)

四年目の任期満了を間近に控え、議員の皆さん、そして私にとりましてもこの三月議会が最後の定例会となりました。月日の経つスピードの速さを実感しているところであります。

三月五日午後、県防災ヘリコプター「アルプス」の墜落事故が発生し、搭乗員九名が殉職されました。大変痛恨の極みであり心から哀悼の意を表したいと思っております。

特にその内の一人、甲田道昭副隊長は上田地域広域連合消防本部からの派遣で、川西署には平成二十年四月一日から二十五年三月三十一日まで五年間勤務され、ふるさと公園あおきのヘリコプター基地の整備に関して、何回も現地でアドバイス

をいただきました。将来を嘱望された職員でありました。甲田氏の奥様は、村保育所の保育士でもあります。

生前のご功績に敬意と感謝の意を表し、ご家族の皆様にも心よりお悔やみ申し上げます。

アメリカでは一月にトランプ大統領が誕生しました。「アメリカ・ファースト」を前面に出し、外交・経済両面で国益優先の立場を明確にしました。環太平洋

経済連携協定(TPP)からの離脱方針などを示した六分野の基本政策も発表して保護主義的姿勢を鮮明にし、国際秩序の先行きに懸念が強まるスタートとなりました。

今年、平成二十九年は日本の近代史にとってふたつの節目に

あたる年であります。ひとつは日本国憲法施行七十周年、もう一つは徳川幕府が朝廷に政権を返上した大政奉還から百五十年周年であります。私たちは昨年十二月に、昭和の合併を経て誕生した新生青木村の六十周年を迎え、村民一同、希望に満ちた美しい村づくりへの決意を新たにしたいところであります。

さて、平成二十八年度は私にとりまして、任期四年のうち、最も充実した一年間でありました。言い換えれば、各種の施策・事業が最盛期を迎えた時期でもありました。地方創生の流れに上手に乗れたかなと思っております。

財源の大変厳しい村にとりまして、高機能拠点化のための道の駅改修工事、簡易水道工事など大きな事業は、国・県からの財政的支援が得られなければ取り組みが行えませんでした。



平成 29 年度からスタートした長期振興計画後期基本計画

この一年間の主な取り組みの

事業についてであります。第一に、平成二十九年度から始まる「第五次青木村長期振興計画後期基本計画」について、審議会

ります。

特に今回は裾野が広く、多くの村民の皆さんの要望の強い四施策を重点推進事業として位置付け、この中で村の課題の解決を図り、村の活性化に繋げてまいります。

## 議案

「道の駅あおき」高機能拠点化プロジェクト最初の農産物直売所は来る三月二十五日に竣工式を挙行いたします。また、「食堂棟」「情報発信・休憩施設（アトリウム）」等も平成二十九年度中に完成予定で、青木村地方創生の拠点として村内の社会的・経済的な好循環を生み出し、若者の雇用を創出し人口減を克服して地域貢献を目指します。

さて、今議会では平成二十九年度予算を審議いただくことになっていきます。予算編成作業を通して改めて感じましたことは村財政の厳しさであり、その中で村の将来に渡る自主自立をした村づくりであります。先々を見据え、村を活性化するため住民や議会の皆さんの協力をいただきながら推進していかねばなりません。村の脆弱な状況の中ではありますが、国からの補助を上手に受け、村の限られた予算を有効かつ合理的に活用し、住民の皆さんの声を反映し、また、将来を見据え、職員英知を結集した編成ができたと考えております。引き続き行財政改革をさらに推進して、効率的で安定的な行財政運営に努めてまいります。

## 議案

## 議案第一号

## 第五次青木村長期振興計画後期基本計画について

十か年の長期振興計画基本構想に基づき、平成二十九年度から平成三十三年度までの後期基本計画を策定するものです。

## 議案第二号

## 青木村辺地対策総合整備計画の変更について

簡易水道整備事業費の増額に伴い計画変更するものです。

## 議案第三号

## 青木村長期継続契約を締結することができる契約を定める条例について

商慣習上、複数年に渡り契約を締結することが一般的であるものや毎年四月一日から役務の提供を受ける必要がある契約等について定めるものです。

## 議案第四号

## 青木村消防団の設置等に関する条例について

青木村消防団の設置、名称及び区域について、根拠法に

基づき定めるものです。

## 議案第五号

## 青木村農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員の定数を定める条例について

国の法律に基づき、農業委員及び農地利用最適化推進委員の定数を定めるもので、今後は農業委員の選出方法が公選制から任命制に変わります。

## 議案第六号

## あおき農産物直売所の設置及び管理に関する条例について

四月に新築オープンする農産物直売所の設置及び管理について定めるものです。

## 議案第七号

## 課設置条例及び青木村議会委員会条例の一部を改正する条例について

機構改革により、商工観光移住課を新設し、建設産業課を建設農林課へ名称変更するものです。これに伴い、議会常任委員会の所管について整備するものです。

## 議案第八号

## 職員の育児休業等に関する条例及び職員の勤務時間及び休

暇等に関する条例の一部を改正する条例について

国の法律改正に伴い、育児休業等の対象となる子の範囲の見直しや介護休暇の分割取得及び介護のための所定労働時間の短縮措置等について、条例の一部を改正するものです。

## 議案第九号

## 青木村非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例の一部を改正する条例について

て

## 議案第十号

## 青木村消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例について

消防団員の役割に、新たに各部一人の部長を配置することに伴い、条例の一部を改正するものです。

## 議案第十一号

## 青木村税条例の一部を改正する条例について

国の法律改正に伴い、条例の一部を改正するものです。



二地域居住者向けのおためしコンパクト住宅

**議案第十二号**  
上田地域広域連合ふるさと基金に係る権利の一部を放棄するについて

上田地域広域連合ふるさと基金に対する村出資総額四千九百六十三万七千円のうち、上小医療圏地域医療再生計画に係る継続事業に充当するため、百八十六万三千円の権利を放棄するものです。

**議案第十三号**  
平成二十八年度青木村一般会計補正予算について

歳入歳出それぞれ九千五百四十二万八千円を追加し、総額を二十八億八千三百七十七円とします。歳入の主なもの、国庫補助金四千四百二十二万一千円の増、ふるさと応援寄附金一千二百万円の増、村債三千六百四十万円の増などで、歳出では、高機能拠点化施設事業費（道の駅あおき情報発信・休憩施設建設工事及び市庭整備）一億一千八百四十四千円の増、公園管理費（ふるさと公園南側駐車場整備工事）七百二十三万六千円の増などが主なものです。

**議案第十四号**  
平成二十八年度青木村簡易水道特別会計補正予算について

歳入歳出それぞれ百一十千円を減額し、総額を一億二千七百十六万円とするものです。歳入は一般会計繰入金、歳出は光熱水費二百万円の減が主なものです。

**議案第十五号**

平成二十八年度青木村別荘事業特別会計補正予算について

歳入歳出それぞれ三万九千円を追加し、総額を一千八百三十五万三千円とするものです。歳入は前年度繰越金、歳出は除雪委託料百十万七千円の増が主なものです。

**議案第十六号**

平成二十八年度青木村特定環境保全公共下水道事業特別会計補正予算について

歳入歳出それぞれ四十一万三千円を追加し、総額を二億八千六百五十万四千円とするもので、歳入は前年度繰越金、歳出は修繕料二百五十六万九千円の増が主なものです。

**議案第十七号**

平成二十九年度一般会計予算

から議案第二十四号 平成二十九年度青木村後期高齢者医療特別会計予算について（別表参照）

一般会計予算の主な事業としては、地方創生プロジェクト事業、地域おこし協力隊関連事業、道の駅あおき高機能拠点化プロジェクト事業、中山間地域等直接支払事業・多面的機能支払事業（継続）、松くい虫防除対策事業（継続）、小中学校 ICT 関連整備などが計画されており、前年度当初予算比九・八％増の予算となりました。

**追加日程**

**議案第二十五号**  
調停成立について

申立人と村との調停案件について、議会の議決を求めらるるものです。

**議案第二十六号**

平成二十八年度青木村一般会計補正予算について

歳入歳出の総額に増減なく二十八億八千三百七十七円で、歳出科目の振替をするものです。

平成29年度予算 一般会計・特別会計合計予算規模（前年度比+2.0%）

**総額 46億4,780万1,000円**

会 計 名	歳入・歳出予算額(円)	対前年度増減率	
<b>一般会計</b>	<b>2,827,500,000</b>	<b>9.8%</b>	
<b>特別会計</b>	国民健康保険特別会計	600,053,000	-6.7%
	簡易水道特別会計	134,811,000	7.3%
	簡易水道建設特別会計	125,229,000	-55.3%
	別荘事業特別会計	15,912,000	-13.1%
	特定環境保全公共下水道事業特別会計	322,775,000	14.9%
	介護保険特別会計	568,119,000	-2.2%
	後期高齢者医療特別会計	53,402,000	0.7%
<b>総合計</b>	<b>4,647,801,000</b>	<b>2.0%</b>	

# 常任委員会報告

## 総務建設産業委員会

平成二十九年第一回青木村議会定例会で、総務建設産業委員会に付託された案件の質疑、答弁は次のとおりです。

尚、委員会審議は三月十三日に行われました。

### 議案第十七号

平成二十九年度青木村一般会計予算について

入湯税の状況について

税務会計課長答弁

沓掛温泉で休業していた旅館を改修し営業を再開した分増額で見込んだ。税率の見直しは考えていない。

青木村例規集の更新とタブレット型への検討について

総務係長答弁

毎年委託により更新している。村のホームページと

紙ベースで公開している。タブレットについては今後検討していく。

雨量計管理状況について

総務企画課長答弁

計器の耐用年数は、国の基準で五年と定められている。点検等については数社からの見積もりにより行っている。

村営バスの運行状況について

企画財政係主事答弁

入奈良本や青木の森別荘地区の利用者が主ではあるが、全体として年々減少している。現在の利用状況では増便は難しい。

ふるさと納税について

税務係長答弁

収支は、平成二十七年度二百四万円・平成二十八年度は千四百七十三万円の赤字である。返礼品は村の農林産物などである。

国際交流事業補助金の内容について

総務係長答弁

中学生が隔年でオーストラリアのマリスト校へホームステイしている。今年は十五名参加し、補助額は一人十万円である。

固定資産台帳の航空写真による整備状況について

税務係長答弁

建造物の状況を航空写真撮影により確認、現地を歩いて調査する。より確実に把握できるので家屋評価の資料としている。

千曲川ワインバレー特区連絡協議会の活動状況と今後について

農業振興係長答弁

ワインイベントやイベント用巡回バスの実証運行など実施している。青木村のワインは好評であった。負担金は一律十万円である。

リンゴを産地化するような対策が必要ではないか

建設産業課長答弁

生産者の高齢化も進んでいるため誰がやるかが課題である。支援策としてJAFアームの研修生を誘致するなど産地を守っていききたい。

有害鳥獣対策協議会交付金の侵入防止策の設置予定箇所は

農業振興係長答弁

当郷地区を予定している。

地すべり防止対策施設巡視員の活動状況は

建設係主査答弁

入奈良本の指定地区で、地元的一名に井戸等の管理を依頼している。

樹種転換事業の今後について

建設産業課長補佐答弁

現在殿戸地区で実施しており、あと数年かかる予定。地元の承諾も得なければならぬので被害の状況をみながら検討していく。

松くい虫対策事業補助金について

建設産業課長補佐答弁

林地以外の神社仏閣などの松について、被害を拡大防止のため七割補助を行うこととした。



雨量計システムの点検作業

**村の商工制度資金利用が少ない理由は**

**商工観光係長答弁**

ほとんどの場合が、県の制度資金や商工貯蓄共済幹旋融資を利用できる内容である。

**横手キャンプ場でイベント等の利活用を**

**商工観光係長答弁**

長野朝日放送との森の里事業でキャンプ場を主会場とすることで大きなPR効果が得られた。今後トレッキングや昆虫資料館、温泉など周辺をトータル的にPRしていきたい。

**除雪機の購入補助金の今後について**

**建設係主査答弁**

二地区から要望があり予算化した。一通り導入は終了したものと思われるが、今後要望があれば対応していく。

**橋梁の法定点検の結果はどのような状況か**

**建設係主査答弁**

村内の全九十四橋について点検を実施したところ、緊急を要する危険な橋はなかった。今後は健全度の低い橋梁から計画的に修繕を行っていく。次回の点検は五年後である。

反対討論なし

**賛成討論**

**内藤 賢二議員**

税務会計課のうち、村税は法人税が横ばいであるものの、個人住民税、固定資産税、軽自動車税は、太陽光発電設備による地目変更、税改正に伴い増となりました。

歳出では、総務企画課関係で村長・村議会選挙費、情報通信に係わるサーバー更新、運賃低減事業等。建設産業課では、高機能拠点施設整備事業、松林健全化推進事業、道路・橋梁補修、地方創生プロジェクト事業等積極的な事業予算が伺われます。

一方、消防団員の減少に伴い機構改革が示され、四

分団制から二分団制へと、又、空家や若者の減少により安心安全面と村の活性化が心配される場所であります。

自主自立をめざした村の活性化と輝ける村づくりのために、より一層の行政力を発揮するとともに、村民と一体となって事業推進にあたりますようお願いし賛成討論とします。

以上全員賛成にて原案のとおり認定することに決定しました。

**議案第二十一号**

**平成二十九年 度青木村別荘事業特別会計予算について**

**事務所の建設予定は**

**事業推進室係長答弁**

予定では、二十九年 度であったが一年先送りをした。

反対・賛成討論なし

以上全員賛成にて原案のとおり認定することに決定しました。



4月28日にグランドオープンした新しい農産物直売所

## 社会文教委員会

平成二十九年第一回青木村議会定例会で、社会文教委員会に付託された案件について、質疑答弁は次のとおりです。なお、委員会審議は、三月十日に行われました。

### 議案第十七号平成二十九年 一般会計予算について

#### 保育所施設工事について

##### 保育園長答弁

給食室の蛍光灯LED化、防災カーテン交換、揚げ物に使うフライヤーの入れ替えが主であるが、保育所施設も築二十五を経過し、老朽化が目立ってきており、今後、計画的に修繕が必要と考える。

#### 教育委員会報酬について

##### 教育長答弁

近隣と比較しても低額であると承知している。青木村の月額一万二千元に対し、長和町は一万五千六百元、東御市が五万五千元、

上田市は一万八千七百円に加えて会議等出席で月額一万四百円が支払われ、月当たり六万円から八万円程である。検討の余地はあるかと思う。

#### 奨学資金について

##### 教育次長答弁

十四名の寄付者による三千四百六千八百四十一円が原資となっており、村の繰入金は利子を含め一億三千五百三十一万二千七百九十八円で、合計一億六千五百四十九万六千三百九十九円で運用している。現在償還者と貸与者で百十九名の方が利用している。昨今の経済情勢に鑑み、今年の貸与申し込みも前年同様と予想されるので五百万円を繰り出し金とし、予算計上した。

#### 子育て支援施設「ゆりかご」運営事業負担金について

##### 住民福祉係長答弁

上田地域自立支援事業の一環で上田市産院内にある

子育て支援施設で、出産された方の育児相談や休養等に利用される。平成二十九年から新規利用のための負担金。

#### 配食サービス委託料について

##### 地域包括支援センター長答弁

調理や買い物が困難な一人暮らしや、高齢者を対象に栄養のとれる食事を提供し、月曜から土曜の昼食と夕食を現在五十四名が利用している。

#### 住民福祉課長答弁

現在低価格で提供しているものの、昨今は原材料の値上がりで厳しい状況であり、価格の検討も考えている。

#### 授産所施設解体工事について

##### 授産所長答弁

二十九年度での事業廃止に伴い、六十四年経過した建物であり、再利用は難しく取り壊しとなる。急傾斜地の危険エリア内であり、新しく建物等の施設は無理なので駐車場として利用していく。



今後、事業廃止となる授産所

### 保健補導員と健康寿命延伸プロジェクト委員会について

#### 包括支援センター長答弁

戦後、保健婦さんの補助としたボランティア活動で須坂市で立ち上がった長野県独自ともいえる取り組みで、村では、四十二名の方にお願ひしている。健康寿命延伸プロジェクトは、医師等二十名で構成された委員で食育や運動、健診などの計画を検討し、長寿延命を計る新規事業である。

### し尿前処理施設建設の進捗状況について

#### 上下水道係長答弁

平成二十八年と二十九年の二カ年で長和町と合同で進めている処理施設建設事業で、平成三十年使用開始を目指している。本年度負担金として七千八百十六万六千円を予算計上した。

#### 賛成討論

#### 山本 悟議員

住民福祉課関係では、従来よりの出産祝金、不妊治

療費給付金に加えて昨年より導入された不育症「妊娠しても流産や死産を繰り返す病气」治療費給付金、一件三十万円。歴史の証人とも言える授産所の解体と駐車場の跡地整備に千四十五万円。

清浄園閉鎖に伴う長和町との協同(し尿前処理施設)建設経費負担金七千八百万円余、老人福祉費の中で好評の配食サービス。

教育委員会関係では文科省が小学校三年からの教科化をめざしている英語教育に、保小中に加え児童センター等にも講師を派遣するALT派遣委託料、経済面から就学援助する、準要保護等児童生徒就学援助金の継続。村の第五次長期振興計画後期基本計画の目玉の一つあおきっ子・小中学校全学年二クラス化の加配教員の人件費。

限られた予算を選択と集中による最大の投資効果を追求した村民目線に沿った予算と認め賛成討論とする。

以上全員賛成にて原案のとおり認定することに決定

しました。

#### 議案第十八号

#### 平成二十九年年度青木村国民健康保険特別会計予算について

近年の医療費の額と県内順位等について質疑応答がなされました。

反対・賛成討論なし

以上全員賛成にて原案のとおり認定することに決定しました。

#### 議案第十九号

#### 平成二十九年年度青木村簡易水道特別会計予算について

公営企業会計適用業務委託料の内容について質疑応答がなされました。

反対・賛成討論なし

以上全員賛成にて原案のとおり認定することに決定しました。

#### 議案第二十号

#### 平成二十九年年度青木村簡易水道特別会計予算について

工事請負費の事業内容について質疑応答がなされま

した。

反対・賛成討論なし

以上全員賛成にて原案のとおり認定することに決定しました。

#### 議案第二十二号

#### 平成二十九年年度青木村特定環境保全公共下水道事業特別会計予算について

浄化センター機械設備・電気設備更新業務委託料及び、下水道公営企業会計適応業務委託料並びに下水道全体計画と事業計画変更設計業務委託料の内容及び、委託契約のあり方について質疑応答がなされました。

反対・賛成討論なし

以上全員賛成にて原案のとおり認定することに決定しました。

#### 議案第二十三号

#### 平成二十九年年度青木村介護保険特別会計予算について

地域支援事業に係る介護予防・生活支援サービス事業費の内容について質疑あり。

反対・賛成討論なし

以上全員賛成にて原案のとおり認定することに決定しました。

#### 議案第二十四号

#### 平成二十九年年度青木村後期高齢者医療特別会計予算について

質疑なし

反対・賛成討論なし

以上全員賛成にて原案のとおり認定することに決定しました。



住民の健康を守る各種健診業務



青木村議会だより 創刊号(平成 13 年 8 月 15 日発行)

# 第一回 青木村議会定例会 一般質問

## 山本 悟議員

- 一、五年・十年後、いや三十年・五十年先の楽園「青木村」を目指して
- 二、議会事務局の独立について
- 三、政務活動費の新設導入について

### 一、五年・十年後、いや三十年・五十年先の楽園「青木村」を目指して

平成の合併に組することなく前村長の強い指導力と、村民の総意により自立を選択した青木村。時間の経過とともに歴史的に合併の是非が評価されつつあります。昭和三十九年の東京オリンピック少し前から、平成二十年のリーマンショックあたりの約半世紀は名実共に「楽園」だったのかもしれない。戦争を知らない世代が多数の今、特定秘密保護法や安保法制が成立。憲法が時の内閣によって都合よく解釈され、「共謀罪」が取沙汰されています。かつての「治安維持法」や「教育勅語」と言う単語を見聞するのも珍しくなくなりました。

「歴史はくりかえされる」と言われます。子供や孫の時代が自由にものが言え、物も程々満たされ隣近所が支え合い、人格や尊厳が尊重される社会で有って欲しい。昨年当村が大手出版社「宝島社」の「住みたい田舎」ベストランキング、村部門で第一位となりました。村としてできる限りの行財政運営をしてより「住んでよかった」と実感でき

る村づくりをして欲しい。

先に配布された、第五次青木村長期振興計画後期基本計画の四つの重点推進プロジェクトに、道の駅あおきの高機能化、国道一四三号青木峠の新トンネル化、小中学校全学年二クラス化、健康寿命延伸について掲げられた。

また、それ等を具現化するための六つの詳細な施策も素晴らしい。

**(問)** 自立をながく可能にして行くには住民税・固定資産税等の自主財源をより高め、村内に企業誘致等をして雇用の場所の拡大をはかられないのか

#### 村長答弁

青木峠の新トンネル化の早期実現と金利の低い昨今、道の駅等に「米のなる木」を植え、できる限り多くの人に來ていただき財政基盤の強化を図る。

#### 村長答弁

開通は三十三年六月十日の三才山が無料化になる時を目標に。周知については広報紙を使って概要版のPRをする。

### 二、議会事務局の独立について

**(問)** 二元代表制のもと都道府県知事市区町村長も、同議会議員も有権者の選挙により選ばれた立場だ。大勢の専門的知識をもった優秀な職員を擁する独任制の提案・予算・人事権を有する村長部局。議決権を持つ合議制の議会と力の差は歴然だ。一般職トップの総務企画課長が議会事務局長兼任もおかしな話だ。専任の局長職員を置けないか

#### 村長答弁

県下三十五村中、専任の局長を置いているのは八村で、専任職員を置いているのが四村だ。当村は連携がうまく機能しているが課題としたい。

### 三、政務活動費の新設導入について

**(問)** 議員が調査研究等に充当するため設けられた。本県では五十八町村中、七町村で運用されている。当村でも採用を

#### 村長答弁

必要があれば予算化することにはやぶさかではない。

堀内 富治議員

一、平成二十九年度予算編成について  
 二、国民健康保険制度の改革と対応について



筋力アップほきほき教室

一、平成二十九年度予算編成に  
 ついて

（問）

一般会計予算、二十八億二千七百五十万円、前年度比二億五千三百万円減の骨格予算である。予算編成のポイントは何ですか。

村長答弁

少子高齢化の中で、五ヶ年計画で、重点推進事項四点を定め、充実した村政をすすみたい。青木峠新トンネル完成時には、実行の効果が出る様考えている。

（問） 村民が集まる拠点場所となる道の駅に対する村としての支援対策の考え方は

村長答弁

道の駅は、昨年四月一日に株式会社とし、村も出資金の三分の一の金額を出資し、応援体制をすすめている。村職員のOB職員も派遣し応援している。出荷者の皆さんとも話し合い、村民の要望に応じて、対応して行きたい。

（問） 職員給与は県下でも低い。予算の中でどの様に考えているのか

村長答弁

村長就任時から考えている。スムーズに実行出来る様努力したい。ラスパレス指数を九十%位に上げ、更に職員の気

力アップを図りたい。

（問） 村税は、歳入全体の十三%と低い。道の駅の活性化も含め、村税の収入増について

村長答弁

今年度は、観光客を増やし入湯税を増やしたい。工場誘致は重要なポイントで積極的に考え、村税アップに努めたい。また、雇用の確保や村の活性化を図りたい。

（問） 地方交付税は、歳入金額全体の四十一・七%として、固く考えている。この税の確保対策は

村長答弁

金額は固く見積っているし今まで、予算より上廻って交付がある。

（問） 経営状況判断する指数と、二十五種の基金と基金の運用について

村長答弁

村の内容を判断する指数は重要である。ポイントとなる指数点検をしてみると、夫々問題のない数値となっており、健全である。基金は小さな村ほど、貴重な財源である。特に基準はないが、災害等目的のある基金は必要だ。無医村対策の基金も考えている。

二、国民健康保険制度の改革と対応について

（問） 平成三十年四月一日より県下一つとなる健康組合は、長寿社会形成には重要と考え、財源確保や、運用の強化に期待しているが

村長答弁

青木村の医療費は高く、県下で高い方から九番目だ。五ヶ年計画の中で、体を動かすこと、健康診断の受診等更に実施に努め、健康寿命を延ばすことを今まで以上にすすみたい。県下一本化されても、青木村職員の業務に変わらない。

（問） 新しい組織への準備は

村長答弁

順次すすめている。具体的方向が決まると、青木村の関係する協議会等で協議し決定して行く。村民の健康管理に努めたい。

（問） 国民健康保険基金について  
 住民福祉課長答弁

統一された後でも保有財産として、保健事業への運用も考え有効活用したい。安定した財政対応や、業務全体の取り組みはスムーズに出来ると思う。

# 片山 順雄議員

## 一、青木村の環境保全、景観保全等について



総合グラウンド管理棟



ごみステーション

### 一、青木村の環境保全、景観保全等について

(問) この村の自然、歴史、文化は大切な財産、これを守り維持し、さらに磨きをかけていく事が大事、今の我々の責務と考えるが

#### 村長答弁

村民憲章の中にも掲げている、また、第五次長期振興計画にも謳っているので良好な環境保全を図っていく。

(問) ゴミの不法投棄が多く見受けるが

#### 住民福祉課長答弁

毎年五月末に美化運動を行っている、昨年は六団体七十名の方に参加いただいた。村内企業にもお願いしている。

(問) 燃やせるゴミのゴミステーション六十七ヶ所を見たところ

分別が徹底されていないことが良くわかった、特にダンボール、雑紙、シュレッダーにかけた紙を燃やせるゴミに出しているのが多い、これを資源ゴミに出せば燃やせるゴミの量がかなり減らせることができる、ゴミの分別をもっと徹底しては

#### 住民福祉課長答弁

各区の区長、衛生委員にも、ご協力をいただきながら、継続的に啓発していく。

(問) 事業所のゴミと思われる

ものが一般家庭のゴミと一緒に出ているのが見受ける、家庭ゴミとしてカウントされてしまっているが

#### 村長答弁

今迄の経過もあるので検討していく。

(問) ゴミ分別ポスター、一般家庭ゴミ分別収集の手引きの内容が現状に合っていない、また以前全戸配布された雑紙を入れる青い箱が小さすぎて使いづらいと聞く。スプレー缶、ガスボンベの空き缶等出し方も変わるのでこの機会に他のゴミの出し方も含め改定版を作り出し方の徹底を

#### 住民福祉課長答弁

ポスター等は検附中、雑紙の箱は、検討していく。

(問) 国道一四三号線、県道十二号線で主に通学路になっている所の草、木、雪が管理されていない所見受けるが

#### 建設産業課長答弁

県の管理になっている、その都度連絡しているがなかなか進まないのが現状、なるべく早く対応していく、雪については地元の区、また業者をお願いしている。

(問) 村営住宅の植木、草等の

管理が徹底していない

#### 建設産業課長答弁

入居者が基本的、村も、もっと指導していく。

(問) 運動公園、体育館の周りの管理について

#### 教育長答弁

クロスロードに空缶、ゴミ拾いをお願いして来た、様子を見ながら手入れ等していく。

(問) 村の環境保全条例第五条に、「村民は自らの生活環境等

清潔にする(中間略)」とある、この条文に従えば村民の皆さんも、もっと意識改革をし、自分の廻りを管理する義務がある。村が積極的に対応できないか

#### 建設産業課長答弁

所有者が管理する事が基本、条例を整備して対応。

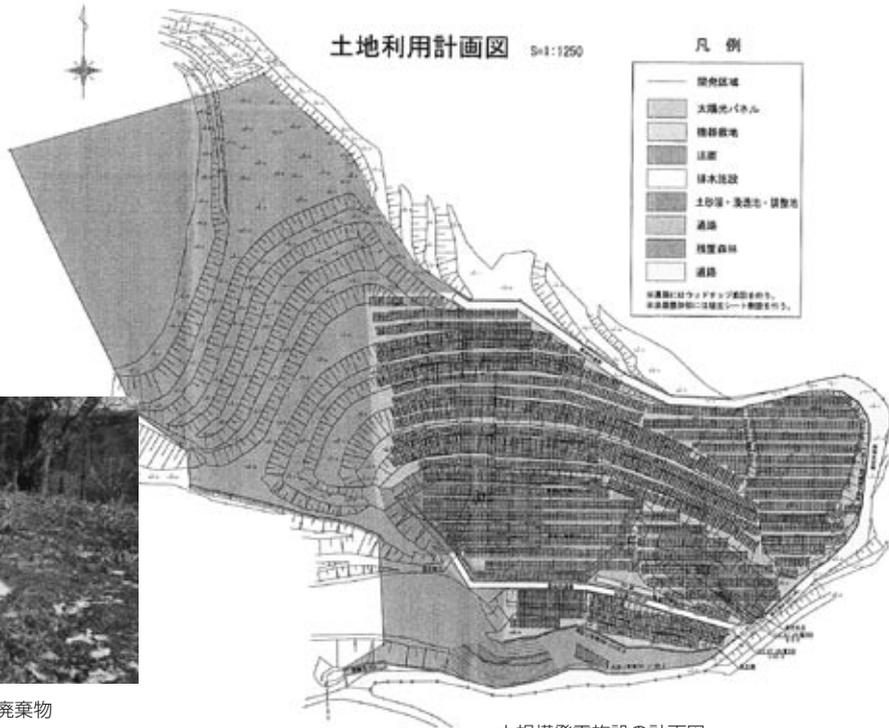
(問) 大規模太陽光発電施設に對して景観保全、土砂災害から守る条例が必要と考えるが

#### 村長答弁

県が太陽光発電を適正に推進するための市町村対応マニュアルを策定、これを参考に早いうちに検討していく。

# 内藤 賢二議員

## 一、環境と景観について



大規模発電施設の計画図



不法投棄された産業廃棄物

### 一、環境と景観について

(問) 不法投棄物の状況は

**住民福祉課長答弁**

このところ投棄物は減少傾向であるが、最近青木峠で豊七十枚、豆石峠で家屋の廃材等悪質な投棄物が見られる。

(問) 不法投棄物に係わる年間の処理費用は

**住民福祉課長答弁**

二十六年度は三十八万円、二十七年年度は五十五万七千円、二十八年年度は七十万円ほどの費用がかかっている。

(問) 国道・県道は管理者である建設事務所、また、県の環境課への負担要請は出来ないのか

**住民福祉課長答弁**

早期に対応し、ごみの山にならないよう独自判断で村が回収をしている。

(問) 回収物のうち可燃物は青木村の排出量として加算されているのか

**住民福祉課長答弁**

業者独自のルートにより処理されているため、加算されていない。

(問) クリーンセンターへ持ち込まれる最近の青木村の排出量の動向は

**住民福祉課長答弁**

前年対比一%の増となっている。

いる。減量化に向けさらに理解を得なければと感じている。

(問) 広域行政でもごみの減量化が懸案になっているか

**村長答弁**

資源循環型施設の建設に向け、ごみ減量化が指摘されている。更なる協力を住民にお願いしていく。

(問) 不法投棄者が特定できれば、処理負担が軽減される。また、注意喚起が出来る。常習場所に監視カメラが有効かと思われるが、設置の考えは

**村長答弁**

特定するには、多方面から写しださなければならぬ。設置場所、設置台数、費用対効果も含め研究していく。

(問) 昨年入田沢地区に於いて、大規模太陽光発電施設の計画が示された。場所は元採石場の一部で危険であり、命に係わることもある。地元では絶対反対を表明し、業者と議論が交わされたが、最終的に反対であるが建設を容認せざるを得ないと言う結論に至った。

こうした自然エネルギーを活用した発電が国の施策もあり急速に設置されている。それに伴い災害や景観、環境面で今後問題になることが心配される。

配される。

太陽光発電に於いて、申請が出されたときは、村としてどう対応されているのか

**村長答弁**

林地開発等一定の規格以上の場合は、県へ申請が出され村においてくる。農転の場合は農業委員会に出てくる。規制がない場合は一般開発と同等に建設がされる。現在のところ申請はない。

**建設産業課長答弁**

農業振興地域に於いては原則設置出来ない、優良農地は現在設置されていないが、許可を得て農地に設置された例はある。

(問) 申請要請にあたって、土砂流出・水害等の災害防止対策、周辺環境や景観の配慮、施設廃止時の撤去等の適正処理等の注意喚起をされているのか

**村長答弁**

施設廃止時の撤去物は産業廃棄物になり多額の経費がかかる。大規模施設に於いては業者が事あることを考慮し、第三者が入り協定を結んでいる。出来れば廃止時を考慮しその準備金を建設の段階で供託していただければと考えている。

本会議討論

平成二十九年 一般会計予算

賛成討論

居鶴 貞美議員

平成二十九年 一般会計予算は、基本的には骨格予算と思われまふ。予算は一年間の収入、支出の見積もりであり、基本構想に合致して、長期的な視点にたつての編成が認められまふ。歳入では、村税は法人税が横ばいであるものの、個人住民税、固定資産税、軽自動車税は、太陽光発電設備による地目変更、税制改正に伴い増となりまふ。一般会計総額では村長・村議会選挙や高機能拠点施設等の継続事業により、九・八%増の二十八億二千七百五十万円が計上されまふ。歳出では、総務企画課関係で村長・村議会選挙費、情報通信に関わるサーバー更新、運賃低減事業等。建設産業課では、高機能拠点施設整備事業、松林健全化推進事業、道路・橋梁補修維持、地方創生プロジェクト事業等積極的な事業予算がかがわれまふ。住民福祉課関係では、従来からの出産祝金、不妊治療費給付金、不

育症治療給付金の計上。長年にわたり村民生活にある面から支えてきた授産所の解体と駐車場の跡地整備。長和町との共同でのし尿前処理施設経費負担金、老人福祉費の中で大好評の配食サービス委託料等々。教育委員会関係では、文科省が小学校三年からの教科に取り入れようとしている、英語に向けての A L T 派遣委託料、経済面から

就学援助する準要保護等児童生徒就学援助金の継続等々。少子化対策、産業振興にも配慮されておる、今後とも、限られた財源の中で有効な事業を選択されて堅実な財政基盤の確立を志向されて村民の期待にこたえられる事を要望して賛成討論と致しまふ。



議会の動き

道の駅あおき高機能拠点化プロジェクト関連事業特別委員会

委員長報告

平成二十七年九月定例議会において、重点道の駅あおきの高機能拠点化プロジェクトについての調査研究機関として設置いたしました、全議員による「道の駅あおき高機能拠点化プロジェクト関連事業特別委員会」の平成二十八年九月定例会以降の取組状況について、報告をさせていただきます。

平成二十九年一月二十三日に第九回目の特別委員会を、現在工事中であります農産物直売所の現場にて開催し、村長、担当課長及び施工業者から、工事の進捗状況及び今後の工程、さらに、来年度以降に建設予定の情報提供施設を、国の補正予算による地方創生拠点整備交付金を活用し、前倒しで建設をしていく計画の説明がありました。委員からは、工程関係及びオープン後の店舗計画について質疑及び意見が出されました。

道の駅あおき高機能拠点化事業は、今後の村の存続をかけた大きなプロジェクトです。農産物直売所は、三月二十五日に竣工式、四月二十日にプレオープン、四月二十八日グラントオープンとの予定との事ですが、地場産の農産物や加工品が多く店舗に並び、村内外から多くの方に来場いただくことを期待し、委員長報告とします。

平成二十八年 上田地域市町村議会議員研修会

上田地域市町村議会議員研修会



平成二十八年 上田地域市町村議会議員研修会が、一月二十日上田市真田中央公民館で開催されました。

今回は、「タブレットから始める ICT 化と開かれた議会」として東京インタープレイ株式会社社代表取締役、米田英輝氏の講演がありました。

全国でも議会の ICT 活用が進んでおり、タブレットの役割が多くなる事例において、重要な連絡手段として位置づけられています。伝達が早い、確実性が高い、場所を選ばず情報を受け取れるといった要素から広域災害時に活躍が見込まれる等、今後更に利用が増えて行くと思われまふ。

## 第十回村づくり懇談会開催される

二月五日(日)に青木村議会と青木村女性団体連絡会共催により、「第十回村づくり懇談会」が文化会館において開催されました。参加者は五十七名でした。

今回のテーマは、

①青木村農業の活性化について  
②青木峠新トンネル開通に向けた対応について

③フリーテーマその他でした。懇談会の前にテーマに合わせて、県きらめきコンクールで、県知事賞を受賞した、かたくりの会、マメ部・畑部の萩原幸映氏から「大豆栽培から天下一品の味噌作りまで」のタイトルで発表がありました。また、建設産業課の金井大介氏より「国道一四三号青木峠新トンネル開通に向けた対応について」説明がありました。その後、六グループに分かれてテーマごとに意見交換が行われました。

①「青木村農業の活性化について」のテーマでは

○若い人が希望の持てる農業作り

○道の駅の冬の対応と、トマ

ト、イチゴ作りの推進

○六次産業化の推進

○温泉の熱利用による農業、魚の養殖 等々

②「青木峠新トンネル開通に向けた対応について」のテーマでは

○交通量の増加に伴う安全対策

○開通後のメリットとデメリット対応

○ベッドタウン化の推進

○青木峠新トンネルに「青木」の名称を 等々

③「その他」のテーマでは

○道の駅周辺に「野菜ハウス」作りによる販売を

○名実と共に「日本一住みたいた村づくり」を 等々

各自が描く村づくりの意見集約する場として有意義な懇談会となりました。今後とも、参加者の増加による活発な意見交換の場として参ります。



第 10 回村づくり懇談会が文化会館にて行われた

**議会と語る会(議会報告会)を開催する**

一月二十五日、「議会基本条例」に基づいて会議を開催した。議員は九人全員でした。

出席者は少く残念でしたが、熱心に貴重なご提言を頂きました。主な会議事項は

**一、議員報酬と定数について**

若い議員には低い、議員定数を減らして報酬増額を

定数は十人位が適当と考えるが、審議会で協議が必要だ。

**二、一般質問は村民の声を反映出来る良い機会だ。勉強してほしい。**

議会も前向きに検討し、対応したい。

**三、消防団の改革で二分団となるが、二分団制について**

各会議を通し決定している。予算については、三月の議会で決定するが、当面従来からの金額で実行してほしい。

**四、青木峠新トンネル開通により、交通量が多くなり、騒音、家屋の振動が考えられる。交通安全故も心配だ。**

承知しているが、今は新トンネルの開通が先だ。

**五、高齢化に対する施策をどの様に考えているか**

介護保険料値上がりしている。地域支え合いのとり組みで負担を抑えることだ。

**六、広域でのごみ処理は**

クリーンセンターの建設は前へ進んでいない。し尿処理は、三十年四月より長和と共同で実施する。

**七、新農産物直売所について**

農産物直売所向けの生産体制を強化して、現状の二倍の供給が出来る様努力し、すすめている。

皆さんからお寄せいただいたご意見、ご要望は、議会活動に反映させ、また村長にも提言してまいります。

**平成二十九年二月  
上田地域広域連合議  
会定期総会**

二月二十一日から二月二十四日までの日程で、上田地域広域連合議会定期総会が、上田市丸子地域自治センターで開催されました。

今定例会では、東御市議会議員選挙により四名の議員が選出され、副議長に依田俊良東御市議会議長が選出されました。提案された議案は、条例案一件、

質問しました。

**青木村及び上田市  
共有財産組合定期総会**

二月二十二日、平成二十九年青木村及び上田市共有財産組合議会定期総会が開催され、提案案件は平成二十八年度補正予算と平成二十九年当予算の二件でした。

補正予算については、繰越金・過年度県補助金の増分で基金積立にしました。二十九年当予算は二千五百六十三万円とするもので、林業振興費で間伐事業が主で有り、慎重審議の上可決されました。二十八年度からの五カ年計画については、間伐事業や下刈・枝打・獣害防除を中心に百九十四ヘクタールを計画しています。

**第二十四回  
長野県町村議会議長  
会定期総会**

第二十四回、長野県町村議会議長会定期総会が二月二十三日長野市で開催されました。

最初に、全国町村議会議長会表彰伝達があり、町村議会表彰

は、阿南町議会、自治功労者表彰は、十四名の町村議員が表彰されました。

平成二十九年、長野県町村議会議長会、事業計画及び一般会計予算は、原案通り可決されました。

事業計画の内容は、県内五十八町村の喫緊の課題に適切に対応し町村の振興発展と、議会機能の充実強化に寄与するため、町村の議会、議員、議会事務局の活動を支援する各種事業を実施する。

地方創生に関しては、地方版総合戦略に基づく事業実施のための財源確保等に向けた積極的な要望活動と情報の収集、発信を引き続き行う。

また、町村議会の振興を図るための事業として、  
一、町村議会議員研修会を一回(七月)開催する。  
二、町村議会正副議長、正副常任委員長研修会を一回(一月、二会場)開催する。

三、町村議会初当選議員研修会を一回(五月)開催する。  
四、町村議会事務局長、担当者研修及び説明会を一回(五月)開催する。

五、町村議会等が主催する研修会に対し、講師紹介等の支援を行う等が決定されました。

# 青木村議会日誌

## 2 月

- 1 日 / 彩の国ビジネスアリーナ 2017 (埼玉県)
- 3 日 / 大節分祭 (議長)
- 5 日 / 第 10 回住民懇談会 (女団連と共催)
- 7 日 / 上田地域広域連合議会代表者会 (議長)
- 10 日 / 消防委員会 (総務建設産業委員)
- 13 日 ~ 15 日 / 議員視察研修 (熊本地震復旧現場ほか)
- 16 日 / 自然エネルギー発電システムオープニング  
セレモニー (議長)
- 16 日 / 公民館運営審議会 (議長)
- 21 日 / 上田地域広域連合議会定例会 (正副議長)
- 22 日 / 財産組合議会 (財産組合議会議員)
- 23 日 / 例月監査 (監査委員)
- 23 日 / 長野県町村議会議長会定期総会 (第 24 回)・  
情報交換会 (議長)
- 24 日 / 上田地域広域連合議会定例会 (正副議長)
- 26 日 / 第 12 回通常総会 (道の駅あおき運営組合) (議長)
- 28 日 / 議会全員協議会

## 3 月

- 3 日 / 議会運営委員会
- 7 日 ~ 17 日 / 3 月定例議会
- 7 日 / 議会全員協議会
- 9 日 / 資源循環型施設建設事業に関する懇談会 (正副議長)
- 13 日 / 資源循環型施設建設事業に関する勉強会
- 14 日 / 議会報編集委員会 (議会報編集委員)
- 15 日 / 中学校卒業式 (正副議長・社会文教委員)
- 16 日 / 小学校卒業式 (正副議長・社会文教委員)
- 18 日 / 保育園卒園式 (正副議長・社会文教委員)
- 21 日 / 社会福祉法人大樹会役員会 (議長)
- 23 日 / 小学校 PTA 慰労送別会 (正副議長・社会文教委員)

- 25 日 / 二地域居住者向けコンパクト住宅竣工式・見学会  
(正副議長、総務建設産業委員長)
- 25 日 / 道の駅あおき農産物直売所竣工式
- 26 日 / 消防団統合総会 (正副議長、議会消防委員)
- 29 日 / 例月監査 (監査委員)
- 29 日 / ゲートボール部会総会 (議長)

## 4 月

- 3 日 / 保育園入園式 (正副議長・社会文教委員)
- 5 日 / 議会報編集委員会 (議会報編集委員)
- 6 日 / 小学校入学式 (正副議長・社会文教委員)
- 6 日 / 中学校入学式 (正副議長・社会文教委員)
- 14 日 / 小学校 PTA 総会及び歓迎会 (正副議長・社会文教委員)
- 14 日 / 議会報編集委員会 (議会報編集委員)
- 18 日 / 村長・村議会議員選挙告示日
- 21 日 / 中学校 PTA 総会及び歓迎会 (正副議長・社会文教委員)
- 23 日 / 村長・村議会議員選挙投票日
- 25 日 / 道の駅あおき高機能拠点化プロジェクト関連事業特別委員会
- 25 日 / 議会議員協議会
- 26 日 / 招魂社祭例祭 (正副議長・社会文教委員)
- 28 日 / 道の駅あおき農産物直売所グランドオープン (議長)
- 29 日 / 高齢者クラブ連合会総会 (正副議長・社会文教委員)

## 5 月 今後の予定

- 1 日 / 第 1 回臨時議会
- 8 日 / 第 2 回臨時議会
- 11 日 / 青木村警察官駐在所落成式 (議長)
- 15 日 / 上田地域広域連合議会代表者会 (議長)
- 19 日 / 初当選議員研修会 (中旨)
- 20 日 / 上小地区障がい者スポーツ大会 (議長)
- 26 日 / 上田地域広域連合議会臨時会 (正副議長)
- 31 日 / 町村議会議長・副議長研修会 (東京) (正副議長)

### 住民の声



塩澤 真由美

春の足音が駆け足や足踏みで近づき、小学校校門の梅の花が綺麗に咲いています。日本一住みたい村で自然の美しさを身近に感じながら生活できることは幸せなことだと思います。

私は村のわくわく広場や児童センターで多くの子ども達との出会いがあり関わらせていただきました。三月は卒園、卒業。保・小・中学校共に卒園・卒業生は頼もしく成長され、先生、保護者、在校生、来賓の多くの人々に祝福される中、あたたかな式で巣立ちます。毎年大きく立派になった姿に感激しています。

今年、小学校の卒業式後、在校生が児童センターへ来ました。その姿は涙・涙でした。担任の先生とお別れ。涙が止まず、真っ赤に目を腫らせ、ヒクヒクしながら暫く泣いていました。先生に愛されて学校生活を送れ、社会力を育むという村の教育目標の通り、子ども達は他者への愛着・関心をもって大きくなっていることを感じました。

また今年度初めて小学校卒業生より児童センター職員へ感謝状をいただきました。手書きの温かな気持ちが入められた感謝状に職員一同感激いたしました。早速額に納め、一番よく見えるところに飾らせていただきました。

春休みの宿題中「今から勉強しておいたら大学行けるかな。大学に行ったら教師になりたいな。」周りにいた子ども達も首を縦に何度も振って夢を応援していました。担任の先生の厳しさと温かさに憧れたようです。

村内には素敵な人々が沢山いらっしやいます。沢山憧れて夢に向かってほしいとおおきこ子に願います。

### 編集後記

青木村議会の総意として賛否両論が有り、長い間の紆余曲折を経て平成十三年八月十五日「青木村議会だより」創刊号が発刊されました。言い出さずとして先輩議員の賛成をいただき、はじめて紙面を目にした時の感激は今も鮮明に脳裡に焼きついています。

議会だよりが議会と村民皆様の橋渡し役として、そして歴史の証人として、愛読されることを願っています。

(S・Y)

### 議会報編集委員会

- 委員長 片山 順雄
- 副委員長 内藤 賢二
- 委員 金井とも子
- 宮下 壽章
- 沓掛 計三
- 山本 悟